

第2回新城市市制施行20周年記念式典検討委員会 会議報告

日時 令和6年5月22日（水）午後5時30分～7時

場所 4-1 会議室

1 あいさつ（企画部長）

最近新聞に「人生120年の時代が来る」とあった。年を取ると細胞が分裂されなくなり体内の機能が衰えるが、年を取っても細胞分裂する酵素が見つかったらしく、将来は120歳まで生きられる時代が来るかもと。来年の20周年では社会状況等がどんどん変わっているなかで将来のことを考えるきっかけにもなると思う。

今日はアトラクションやテーマを皆さんに決めていただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

2 議題

（1）式典のアトラクション等について

（委員長）先日、「ふれあいフェスティバル」が開催された。

屋外ではバイクのイベントやダンス、キッチンカーがあり、屋内では大ホールの舞台裏体験、展示室では新城福祉会による巨大な滑り台を組み、子どもからお年寄りまで1,000人程の参加があった。

今日は式典のアトラクションやテーマに関して意見交換をしたい。

早速、事務局で式典のアトラクションについて実現できるか調査していただいたので報告をお願いしたい。

（事務局）第1回の時に、アトラクションについて調査をして欲しい、駄目ならその理由も調べるよう意見があったので、表のとおりまとめた。

【こども×音楽・歴史】

長篠陣太鼓、子ども陣太鼓としては30分以内で可能。

【こども×歴史】

子どもにも分かりやすい長篠・設楽原の講演が考えられるが、生涯共育課で計画している長篠・設楽原450周年記念事業の中で、歴史講演を沢山行うので△とした。

【こども×音楽】

市内6中学校に照会をかけた。結果としては、1校未回答だが、5校中4校が可能という回答だった。

各学校条件があり「10月なら可能だが2月はNG」「単独ステージは無理なので合同を希望」など、吹奏楽にするなら吹奏楽部の顧問との調整が必要になる。

【こども×よしもと】

「宝くじふるさとワクワク劇場」が正式名称。2部構成で、1部がよしもと新喜劇、2部が希望者による一般出演の合計120分が必要になるので、

アトラクションとしては不可能。

【観光大使の村上さんと呼ぶ】

式典のMCを想定して問い合わせてみたが、2時間の稼働は不可とのこと。ただ、5分～10分のスポット出演なら要相談との回答だった。

(委員長) アトラクションに関しては本日決めなくてもいい。新しい意見があれば追加していただきたい。組み合わせを変えることも有り得るかもしれない。

(事務局) 事務局としての意見を言わせていただくと、長篠陣太鼓は融通が利くので、例えばオープニングで長篠陣太鼓を演奏し、アトラクションで吹奏楽やダンスなどをやるといいかもしれない。

(F委員) 他の周年式典を見ていると、オープニング・式典・アトラクションという流れが多いので、その意見は賛成。

(E委員) 新しい意見として、子どもの合唱はどうか。吹奏楽はレベルの違いや先生の負担があると思う。集団で何かをする特権。子ども達が声を合わせる機会があると良いと思った。

(G委員) 吹奏楽だと吹奏楽部に所属している子しか窓口がない。合唱ならより広く機会が与えられる。吹奏楽よりは平等性がある。レベルの差もない。

(D委員) アトラクションの目的は何か。

(事務局) 式典は厳かな感じでやるので、アトラクションで華を添えたい。

(D委員) 巻き込みたいのか。集客したいのか。

巻き込みたいなら合唱でその場で皆で何かつくるのも手かな。誰がやるのか難しい問題だが。子どもを集めるとバスの手配等大変。やらされていると思われたら悲しい。本当にやりたい子が参加して「楽しかった」と思ってもらえるにはどうしたらいいのかな。子どもを集めるのは簡単なことではない。いま星の子合唱団の公演ポスターが貼ってあるが、そういう団体を主にして最後は客席の皆さんも巻き込んでもらうのも良い。

(B委員) 全く違うことを考えていた。今、自動運転の実証実験を国や県がやっているのだから、それに合わせて中学生に自動運転に乗ってもらう。未来のことを体験してもらうアトラクション的なものを式典が終わった後にやってもらう。体験できる子が限られるのでどうかなとは思いますが。高齢化が進んでいく新城で、若い子にテクノロジーを体験できるものを取り入れたらどうか。

(委員長) 出来る出来ないをまた調べてもらいたい。

テクノロジーで言うと、65周年式典で「OriHime」を活用した。介護用の遠隔操作ロボット。本体と離れたところでiPadで操作する。操作する人は新城の障害のある方で、我々は「OriHime」に司会を全てやってもらった。やり方は色々ある。

(A委員) せっかくの式典を同時配信して子どもたちも見れるようにすると良い。

オープニングは太鼓で景気良く始め、最後は音楽やダンスで未来へ向かって希望を持てるような流れになるといい。ただ、それがどういう機会になるのか。こども達にとっては思い出の機会、地元の人にとっては「こんな凄い

人がいる」という紹介の場にもなる。それを合わせてやれると良い。吹奏楽なら有教館高校にもある。また、長篠地区に書道パフォーマンスをやる方がいる。そういう方をオープニングにでも入れると面白いのかなと思った。

(委員長) オープニングで長篠陣太鼓をやり、アトラクションとして吹奏楽や合唱などをやるという点は自分も良いと思う。

付け加えとして、マジカルラブリーの村上さんの稼働が短いのであれば、オープニングの陣太鼓と一緒にやってもらうとか。向こうも観光大使としてPRできると思う。合唱に入ってもらうのも良いが。

もう一点。合唱であれば、いま新城で増えている世帯がある。外国人世帯。今後増えていく。出稼ぎというより、長く居てもらおうというターンに企業側もシフトしている。家族をもって共に暮らしていく外国の方とも一緒に合唱が出来ると、横の幅も広がるかな。

(G委員) 世帯でなく单身の方も大勢いる。そういう方たちが、自分の住んでいる町で何をやっているか分かるのは住んでいて安心材料になる。巻き込めるのであればそれも良いと思う。

(委員長) それぞれの意見が出た。オープニングは見えてきた。

アトラクションは後は実現性かな。吹奏楽、合唱、自動運転(何らか)の体験、書道パフォーマンス。書道パフォーマンスなら陣太鼓と相性が良いと思うので、陣太鼓をしながら真ん中で書を書いてもらうこともできる。この辺りが概ねの方向性になっていくかな。

これを足した方が良いとか、ここはもう一回検討した方が良いとかあれば事務局に伝えていただき、3回目に向けて実現できるものを精査してもらおうという流れにしていきたいと思う。

(A委員) 前に出ていた2月、10月問題は進展があったか。

(事務局) 市長を交えて方向性を確認したところ10月になった。

(委員長) 同時配信については、市長選の前の公開討論会をティーズで同時配信していたので、予算は自治振興に聞けば確認できると思う。

(事務局) 色々な意見が出たので、事務局で精査し、実現できるかどうかをまたこの表に追加する。申し訳ないが【こども×よしもと】は削らせていただきたい。マジカルラブリーのスポット出演に関してはもう少し詳細に確認する。

委員の皆様から頂いた意見の調査結果を載せたうえで、次回開催前にメールで共有できればと思う。

(2) 20周年記念事業のテーマについて

(事務局) 委員の皆様から考えていただいたものを表にまとめた。簡潔なテーマを求めているが、キャッチフレーズのようなものもあった。事務局の説明不足で大変申し訳ない。もう少し絞らせていただいたうえで選んでいただきたい。

A委員は「こどもと見つめる」

B委員は「凛々しいこども」、「たおやかなこども」

C委員長は「こどもと共に」

D委員は「子どもが輝く」

E委員は『「煌めく」こども』、『こども「と共に」』

G委員は「こどもとわたし」

事務局としてはこんな感じで考えている。今回テーマだけは時間内に決めていただきたい。万が一決まらない場合は事務局一任でお願いできないかということでお諮りしたい。

(委員長) 今、ワンフレーズになるように言葉をそれぞれ紹介していただいた。

一点だけ、D委員の「教育振興基本計画の中で」という言葉があったのでその説明を含めて最初に意見を聴かせていただきたい。

(D委員) 「輝くまち新城」を具現化していくために、授業はこうあるべきだとか特別支援教育や外国人、家庭の支援、部活動地域移行、学校給食等々。こどもが輝くために、それぞれの政策を具体化させていこうという記載がある。人生100年時代に向けて色々な子が育っていったらいいなということを考えながら進めている。

こどもだけになってはいけないというのが頭の隅にある。

(B委員) こどもと大人というイメージはあったが形容詞と言われても難しかった。

教育振興基本計画の中に「子どもが輝くまち新城」とワードとして載っているなら、それで良いのではないかな。

(A委員) 教育振興基本計画を重んじるのも大切だが、それだけに偏っていいのかな。

自分は「こどもと見つめる」としたが、今回のテーマは一過性ではなく、流動性を持たせて続けていって欲しいという意味で、こどもと一緒に見つめる、こどもと一緒に歩む、「こどもと一緒に」という意味が込められるといいかなと思って考えた。

(委員長) 前回の委員会で出た〔こどもが主体的〕、〔こどもも主体の一人〕という考え方に共感したので、そこが分かるように「こどもと共に」を考えた。

(F委員) 私はこれというものを書いていない。前回の資料を読み込むと、20周年記念事業とは、それぞれの課でそれぞれの事業を行ううえで、20周年記念事業になりそうな事業については、こどもに関連するものを充てていく。そのためのテーマだと書いてあった。最初イメージしたのは蒲郡のディズニーパレードみたいな大きな事業をやるのに、こどもをメインにしたテーマでの形容詞的なものを見ると思っていたが違うことに気づいた。

将来を担うこどもをテーマに掲げて〔職員が〕一体となって20周年を盛り上げると書いてある。庁内で20周年の記念事業をやる時に、大きなテーマは「こども」と決まっているから、それぞれの課がこどもに関してやりたい事は様々あるから、一つに決めないでそれぞれの課で言葉にしてもらえばいいと思った。ただ、それらを含めた大きなテーマを作ったうえで、それぞれの課が、その思いを持って20周年に絡めていく。そういうことであれば、その大きなテーマを何か一つ考えた方がいいのかなと思う。

(委員長) 共通認識として、それぞれの課でそれぞれ思いがあると思うが、その思いが乗っかりやすいフレーズがあるといいよね、ということ。

(E委員) 一つ目の『「煌めく」こども』というのは、輝くを超えてこどもが主役になれるイメージを持った。

『こども「と共に」』は、こどもだけじゃなくて大人も一緒に、共にまちを創っていくイメージで考えた。

(G委員) [共に] というフレーズは出た意見と近いと思う。自分がこどもだったらどう見るかとか、それぞれがこどもに寄り添って考えていく事業になって、その中で自分を見つめなおしたり視野が広げられると良いと思い「こどもとわたし」を考えた。

皆さんの意見を聞くと、前に形容詞が来るよりは「こどもと〇〇〇」にした方が合っているのかなという気がした。

例えばF委員の言ったように、それぞれの課で考えるベースがあった方が良いのであれば「こどもと〇〇〇」にして〇〇〇をそれぞれイベント毎に変えて行けるように、アバウトな感じでも良いかなと思った。

(委員長) 総合すると、教育委員会で出た「子どもが輝く」というフレーズが一つ。委員会での話し合いの中でいくと「こどもと共に、一緒に」という考え方として共通しているものが一つ。それを最終的な表現として「こどもと〇〇〇」にするという考え方。というのが話し合いの中で出た感じかな。

個人的な意見を一つ。各課が事業を決めるとき、今のように〇〇〇とあえて余韻を残す形と、その事業がこれに適っているかどうかという基準になるようなフレーズを作るという方法もあると思う。例えば、魔法瓶のサーモスという会社があるが、「サーモスマジック」という言葉を大事にしていた。何かを創る、企画をする時にそれがマジックのようなものかどうかで判断する。言葉に合うかどうかで企業として可否を判断していた。それも一つの方法だと思う。それを捉えると、輝きを超えた[煌めく]という単語。これは煌めくこどもと言えるのか、煌めいた事業と言えるのかを、各担当課が自分の事業に問うてくれるようなワードも一つの共通認識なのかな。問う時には簡単なフレーズかつパワーがあるフレーズが相応しいので今回で言えば[煌めく]が面白いと思った。

(F委員) 今の委員長の話でスッと落ちた。今我々が決めようとしているフレーズは、そういう考え方で示せば職員の方々も受け入れやすい。そのテーマで事業を進めていくのに、もう少しこうしようとか考えてくれるような気がする。

(B委員) どちらかという、先ほどG委員が言っていたように、「こども」が前にワードとしてあった方が、キャッチーなイメージになる気がする。

(D委員) 「子ども」ではなく、今回の「こども」の方がいいと思う。

私は「こどもと歩む」はどうかなと思った。一緒に進んでいく感じ。こどもに寄り添っていて、隣にはこどもがいるというイメージ。歩むは平仮名でも良い。未来がある感じ。優しい感じ。A委員の「見つめる」に触発された。

(A委員) こどもを前にするとこどもが中心になり、他の人との関わりがみえてくる。「〇〇のこども」にすると、こどもにフォーカスされてしまう。

煌めくもいい言葉だと思うが、「煌めくこども」と「こどもと煌めく」は意

味合いが変わってくる。

あと、煌めくは良い言葉だけど、どこで習うのかな。

(D委員) 常用ではない。

(A委員) だからこどもは読めない。使うなら振り仮名を付けるとか配慮がいる。

(委員長) こどもが前に来た方が良さそうだね。

今の話で行くと「こどもとあゆむ」若しくは「こどもと煌めく」。この辺りが推されているかなと思う。E委員はどんな思いで「煌めく」を付けたのか聞いても良いか。

(E委員) 「煌めく」という字を小説の中で見つけた。意味を調べたときに「立派で甚だしく見える。キラキラと光り輝く。」とあって、煌めくという字は光り輝くんだ、輝きを超える字があるんだと初めて知った。字の左側に火がある。輝くは光だけど、火のように灯る意味も込められているのかな。強い光なんだなと思った。「こどもと煌めく」だったら、一緒に光のある方へ進んでいくという気持ち。やわらかいイメージなら「あゆむ」とか親しみやすいのもいいかなと思った。

(委員長) 本当は一つに決めたい。話し合いの中で、新城が目指しているものが決まれば良いと思っていたが。今のように優しい感じでいくなら「あゆむ」だしキラキラする感じなら「煌めく」だし。ここで決まらなければ一応投票シートも用意していただいている。7人でちょうど奇数だし。あまりやりたくはないけど。

(F委員) 一点。「こどもと煌めく」という候補は、やはり漢字表記が重要か。

(E委員) これは表に出るのか。市民に「煌めく」ってカッコつけてるって言われなかな。習わない漢字を見たときに「え？」てならないかな。みんなで包み込むような市を目指してるのに。

(委員長) ポスターやチラシにも載るのか。

(事務局) 全く表に出ないことはない。表に出てくるフレーズにはなる。

(F委員) 先ほどの説明としては、職員がこのフレーズで事業を進めていくということ。この言葉を使うのは基本的には庁内というか職員というイメージだよな。こどもたちに、このテーマを使って何かしてもらおうとかではない。

(事務局) そういうものではない。

(A委員) 煌めくという漢字は難しいが、煌めくという意味はこどもでも分かる。決まった訳ではないけど煌めくにするのであれば、発想を変えて、「きら」を片仮名にするとか、「きら」をローマ字にするとか、表現の仕方を変えるのも面白いかなと思った。

(D委員) 市がどうあって欲しいかなという思いがあって皆さん考えていると思う。

私は、千郷の歴史物語を作るのに少しだけ携わっていて、新城が班田（飛鳥時代）の頃からあるのを知った。千年以上も前から脈々と人の営みがあったんだという事を知った。消滅可能性都市と言われているなか、この先数十年の内に、脈々と引き継がれてきた歴史がなくなるは本当に悲しいこと。

古代の人たちからここで営んで生を受けてきたわけだから、新城らしく

細々とでもいいから続いて欲しいという思いがある。人口をもっと増やして商業都市になろうというイメージではなく、この先も新城らしく今のままでいきたい。

(B委員) 新城というと、平仮名で「こどもとあゆむ」という方がイメージとしてある。

(F委員) 当然、我々委員が責任を持って決めないといけないが、先ほどから言っているように職員が一体となってということであれば、職員の方はどういったフレーズが進めていきやすいか参考までに聞きたい。

(事務局) 庁内の意思を統一させるためということもあるが、20周年記念事業は必ず広報やホームページ等で公表する。その時に説明として、このテーマは添えたいというのがある。「こどもとあゆむ」という方が市民の方に対しては理解されやすいかなとは思う。

(事務局) 「煌めく」はすごくかっこいい。「あゆむ」は優しさが感じられる。

市では今、名古屋大学と連携してレゴカーを使って自動車開発の体験ができるというのを考えている。先に自動運転の話が出たが、近未来的なものを将来を担う中学生や子どもたちに触れてもらうというのは「煌めく」なのか「あゆむ」なのか。先ほどA委員が言ったように、だいぶイメージが変わってくるので楽しい。自分も決めかねる。

(委員長) 半分自分の我儘が入る。市民に理解されやすいのは「こどもとあゆむ」のような気がするが、この先を思ったときに、ワクワクだったり、もう少し伸びて欲しいところ、自分が新城に欲しいものとしたら期待を込めて「こどもと煌めく」を今回のテーマに推したいと思う。ご異議があれば止めていただきたい。表現が悩ましい。漢字で行くか平仮名でいくか。

(B委員) 煌めくにするなら漢字を使いたい。こどもには難しいかもしれないが。

(A委員) これを機会に子どもたちが学ぶということもある。

(委員長) では、「こどもと煌めく」。煌めくは漢字、こどもは平仮名で、今回の委員会としてのテーマとして決定したいがよろしいか。

では、20周年記念事業のテーマは「こどもと煌めく」でお願いしたい。
これで議事は終了とする。お忙しい中ありがとうございました。

3 次回開催日時について

7月9日(火)午後5時30分～ 4-1会議室